

実践記録

69

シリーズ

「あさひウィークエンドスクール」

～ログハウスづくりに挑戦！～

朝日村教育委員会 派遣社会教育主事 佐藤 浩

1 はじめに

朝日村は、雄大な朝日連峰を望み、清き三面川、高根川が流れる山紫水明な村である。

朝日村教育委員会では、週末の子どもたちの体験活動の場の提供として「あさひウィークエンドスクール」を、村内の小学校4年生から中学生までを対象に実施している。

同スクールは、土曜日をおもな活動日とし、「チャレンジ体験塾」「メディア塾」を柱として、他に「スポーツ教室」「郷土料理教室」などを行っている。以下に「チャレンジ体験塾」～ログハウスづくりに挑戦！～について紹介したい。



ならんでのこぎり

2 チャレンジ体験塾とは？

(1)事業のねらい

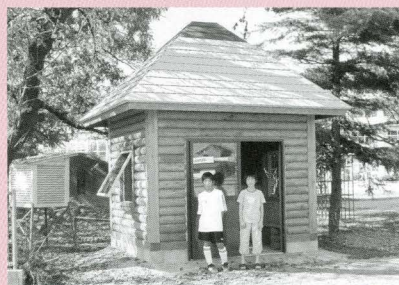
- ①山林王国である朝日村の地域性を生かした間伐材の利用を考え、木を加工するという労働体験を通じて、木とふれあう。
- ②建築物ができるまでの工程をひととおり体験し、完成時の喜びを得る。

(2)事業の概要

14年度、15年度と続けて、ログハウスづくりに取り組んでいる。

地元の建築組合の専門家を講師に依頼し、廃校になった中学校の体育館を活動場所として利用した。

また、完成したログハウスは、雪



ログハウス完成したよ

の多い地域から「バス停留所の待合室」として住民に喜ばれ利用されている。

○活動内容

(活動時間 1回目 9:00～12:00

2回目以降 9:00～15:00)

1回目：「設計をしよう」

ログハウスのイメージを絵にして表す。子どものアイデアを基に、設計士の目で修正し設計図を作成（エンピツ型が採用）。

2～4回目：「間伐材を切ろう」

「ベンチをつくろう」

間伐材に墨付けをし、のこぎりでのこぎり。電動ドリルでの穴あけ。防腐剤ぬり。

5回目：上記の作業と設置場所の基礎工事（整地）。ベンチの完成。

6回目：外壁材のボルト通しリハーサル。基礎完成。

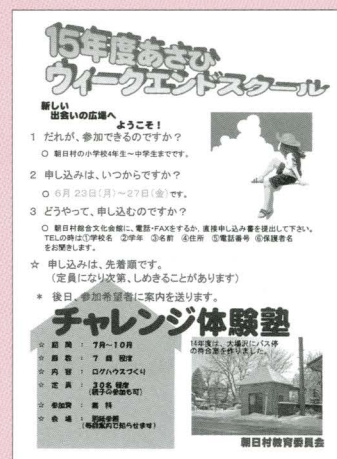
7回目：外壁組み立て。上棟式・餅まき。

墨付け、ドリルでの穴あけなど手本を見せて、できるだけ子どもたちに作業をさせた。

○参加者の反応

昨年度は、中学生の参加者がなかったが、今年度は、中1男子1名の参加（昨年も参加）を得た。

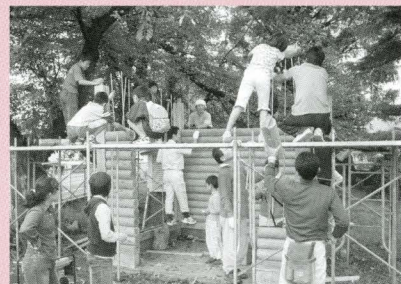
作業を進めるにあたり、女子児童の数が多いため、進行がスムーズに行くか心配したが、黙々とのこぎりをひく姿を見て、要らぬ心配となった。



募集ちらし

活動の回数を重ねるごとに、作業を通して他校の友達と仲良くなったりと、異学年の交流を図ることができた。また、多くの保護者の参加を得て、大人の交流の輪も広がった。

参加者の感想の中で、「つらかった。大変だった。」というものが多かったが、「けど、友達ができてよかった。完成した時うれしかった。」というものが大半だった。



ログ組み立て作業

3 おわりに

この活動は、のこぎりひきなど単調な作業が多かったが、手に豆をつくりながらも熱心に取り組んでいた。苦労が多かったせいか、自分たちの手で造った物が建物として姿が見え始め、完成を迎えたときの達成感は、得がたい体験だったように思う。

この事業を行うにあたり、地域の森林組合、建築組合、保護者の助力など、地域ぐるみの協力がなければ実現できない活動だった。

また、子どもたちが、職人の技に感心する様子や、お互いが協力し一つのことをやり遂げた連帯感を体験したことから、年配者への尊敬の念や他者への思いやり、最後までやりぬくことの大切さなどを学んでくれたのではないかと感じる。